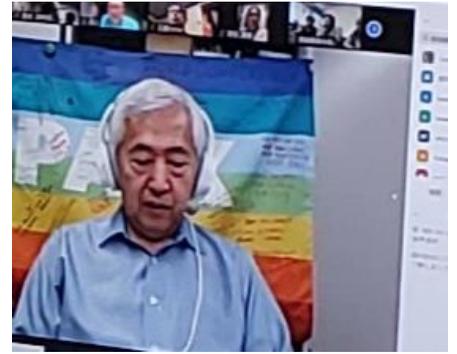


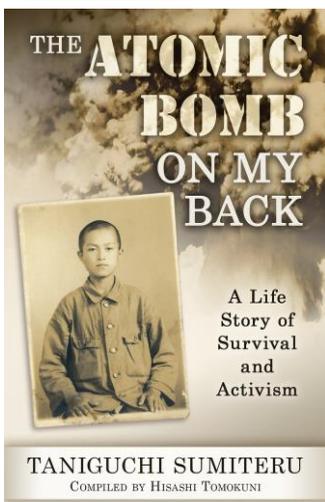
# 6月13日長崎県原水協オンライン総会を開催

広島と長崎への原爆投下から75年目にあたる8月6日と9日を中心に、「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を - 人類と地球の未来のために」をテーマに開催される原水爆禁止2020年世界大会（オンライン）の成功へ、討論を深めました。新型コロナウイルス感染拡大に立ち向かいながら原水爆禁止運動の役割を果たす大会の重要性や、とりわけ、オンラインという新たな挑戦の大会が持つ可能性についても学びました。



県下から21か所より28名が参加、日本原水協の安井さんも急な呼びかけに快く参加していただき、今回の世界大会の意義や、それを支える原水協募金、また、長崎の署名行動に期待する発言があり、世界大会へ向けての運動の方向が見える会議になりました。初めての緊張感ある2時間のオンラインでの会議。総会方針についてもですが、運営などについてのご意見ください。

※20日（土）18時より19時30分でオンラインでの「世界大会実行委員会」です。当日に案内のURLをメールします。これは世界大会（オンライン）へのお稽古となります。関係者は忘れずご参加ください。



谷口稜暉さんの「原爆を背負って」の英語版が、被爆75年に間に合うようにアメリカで出版されることが決まりました。6年前から原水協の英語ボランティアグループの手で訳し、ガーソンさんなどアメリカの協力者が校閲してくれたもので、日本被団協が発行責任者となり、Rootstock Publishingという自主出版を扱う出版社から出版されます。添付は英語版の表紙です。

自主出版ということで、初版の費用は捻出せねばならず、現在クラウドファンディングの準備中で、来週中には開始できると思います。（入金先は日本被団協です）原著者は西日本新聞社の久知邦記者。日本原水協 朝戸さんより